



# 雪舟ゆかりの地を訪ねる



重文 雪舟自画像（模本）（大阪・藤田美術館所蔵）

## 井山宝福寺

Iyama Hōfuku-ji Temple MAP G-5

雪舟が涙でネズミの絵を描いたという逸話で知られる井山宝福寺は、臨済宗東福寺派の中本山で、多くの高僧を生み出している地方にはめずらしい大きな寺です。

もとは天台宗の古刹で、鎌倉時代の貞永元年（1232）に当時の住職・鈍庵和尚が、現在の地に伽藍を建立したといわれています。その後、京都東福寺開山の円爾弁円（聖一国師）の教えに深く感銘し、弁円の弟子・玉溪を迎えて宝福寺を臨済宗に改めました。

山陽道筋の布教の拠点寺院として栄えた宝福寺でしたが、天正3年（1575）に起こった備中兵乱によって、三重塔や般若院など、わずかな建物を残すのみとなり、以後しばらくの間荒廃しました。江戸時代に入り、岡山藩・浅尾藩などの力添えと歴代住職の努力によって現在にみられる姿に再興されました。仏殿や方丈などの七堂伽藍を備えた境内は、禅宗特有の趣を感じさせます。

It is said that the Buddhist priest Don'an of the Tendai sect had the main hall of the temple erected in the first year of Joei during the Kamakura period (1232). After that he went to Kyoto, where he was deeply impressed by the teachings of "Ennibenzen" (founder of the Tofukuji temple), and with the help of Ennibenzen's disciple Gyokkei he renewed the Rinzaï sect at the Hōfukuji temple.

## 雪舟 (1420~1506)

水墨画を大成した雪舟は応永27年（1420）、備中赤浜（現総社市赤浜）に生まれ、幼少のころ宝福寺で修行。その後、京へ上り、相国寺で禅を学びながら、水墨画家の周文のもとで画業の修行にも打ち込みました。さらに、西日本で最大の守護大名である大内氏の庇護を受け山口の雲谷庵での創作活動を経て、中国（明）に渡り、水墨画を本格的に学びました。帰国後は、再び山口を拠点に各地を回り、数多くの作品を今に伝えます。永正3年（1506）、87歳で生涯を閉じました。

雪舟が描いた作品のうち、「秋冬山水図」「山水図」「山水長巻」「破墨山水図」「慧可断臂図」「天橋立図」の6点が国宝に指定されています。

# 奇峰絶景

## 訪れた文人たちをも魅了した景観美

昭和4年にここを訪れた与謝野晶子をはじめ、画人、詩人らにそのモチーフとして表現された自然美は、楨谷川の支流のせせらぎをオーケストラに、今もその偉容をとどめています。

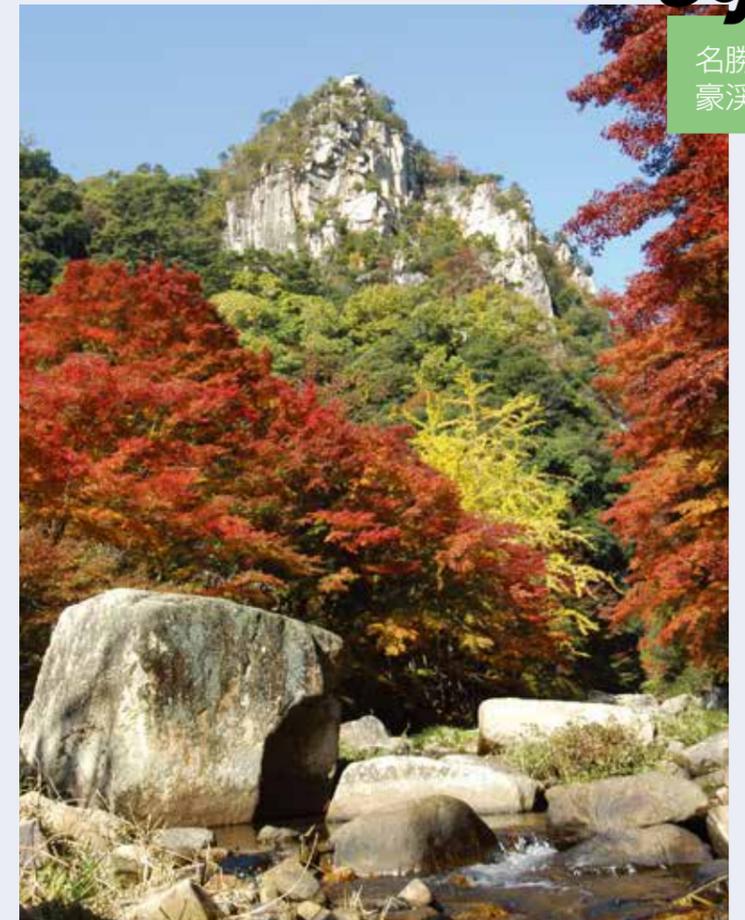
## 名勝豪溪

Scenic Spot at Gokei MAP E-1

名勝豪溪は、高梁川の支流、楨谷川の上流にある溪谷です。温和な風土の総社地方の中でも異なった趣で知られています。

溪谷には、江戸時代末期、備前吉永出身の漢詩人で医者でもあった武元登々庵書の「天柱」の二字を刻んだ天柱峰をはじめ、剣峰、雲梯峰、盒子岩などの花崗岩のきりたつたがけや石柱が楨谷川の溪流の兩岸に群立しています。これらの岩石美と清流・紅葉の調和が壮大な自然美を造り出す景勝の地で、国の名勝地に指定されています。

At the upper reaches of the Makidani river-a tributary of the Takahashi river-you will find the beautiful site of Gokei. It even excels the already harmonious landscape of Soja.



## 雪舟生誕地公園 Birthplace of Sessyū MAP K-5

すばらしい墨彩画を世に残し、画聖と讃えられる雪舟。令和2年11月には生誕記念碑がある総社市赤浜（岡山自動車道 岡山総社IC南約300m）に、公園を整備しました。

## 涙でネズミの絵を描いた雪舟

宝福寺の小僧・雪舟は、修行もせず絵ばかり描いていた。みかねた和尚は、こらしめに雪舟を柱に縛りつけた。しばらくして和尚が縄を解きに行ってみると、1匹のネズミが今にも雪舟の足先にかじりつこうとしていた。慌てて和尚は追い払おうとするが、ネズミは一向に逃げない。不思議に思って近づくと、それは雪舟が自分の流した涙で足の指を使って描いたネズミだった。感心した和尚は以後、雪舟に絵を描くことを許したといわれている。



岩山は 天の柱の 文字あるも  
のきもぬれゆく むら雨ふれば

与謝野晶子